



漢字(口ノノノ000)

(昭和五年三月現在)

名 稱	冊数(部)	持 主	主筆又記者	備 考
Hamburger Fremdenblatt	0	Broschek G.m.b.H.	Felix v.Eckardt	本欄中特記各紙の 発行部数 (五ノ上ノ行ニ)
Hamburger Nachrichten	0	Dr.Hermann Hartmeyer	Dr.H.Hartmeyer u. Hans Joachim v.Neuhaus	
Hamburgischer Correspondent m.Börsenhalle	0	Hamburger Börsenhalle G.m.b.H.	W.Weber	
Mittagsblatt	0	Hamburger Börsenhalle G.m.b.H.	W.Weber	
Hamburger Anzeiger	0	Justus Hendel	Dr.Winbauer	
Hamburger Echo	0	Hamburger Druckerei & Verlagsgesellschaft	Paul Bugdahn	
Hamburger Neueste Nachrichten.	0	Ernst Hirt	Jacobi	
Hamburger Volkszeitung	0	Norddeutsche Verlagsgesellschaft	Arthur Demolski	
Norddeutsche Zeitung	6 → 共産党	- " -	- " -	
Hamburger 8 Uhr Abendblatt	0	Hamburger 8 Uhr-Abendblatt G.m.b.H.	J.E.Reif.	
Nordische Volks-Zeitung(Zentrum)	0 中央党	Germania Berlin	Lokal-Redakteur. Dr.A.Altewischer	一八二五年創刊。 発行部数一五 印刷部数五二 之ヲ為ス。

0003

情報部

第一編

昭和五年三月廿七日接發

機密公第六六號

昭和五年三月十二日

在郷家屯

領事代理 遠山

外務大臣 男爵幣原喜重郎殿



0004

新聞調査報告ニ關スル件

本件ニ關シ本月四日附報一機密合第二四九號貴信ヲ以テ御來示ノ次第有之タル處右ハ既ニ一月二十三日附機密公第三二號拙信ヲ以テ提出済ナルニ付右ニ御承知相成度シ

612,933

情報部

第一編

昭和五年三月廿七日接發

機密第二七七號

昭和五年三月十三日

在 哈 爾 濱

總領事 八木 元

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿



0005

新聞調査報告書提出ノ件

昭和四年末現在哈爾濱ニ於ケル日、支、露、英、獨字各新聞及通信雜誌等ニ關スル調査報告書別添ノ通り作製茲ニ正副二通提出スルニ付御查收相成度

612,933

退テ右報告書ハ前年度報告ニ變動アリタル部分ノミヲ採録シ直キタルニ付右御諒承相成度

B11

0006

概説

(イ) 漢字紙

本年度當地ニ於ケル漢字新聞ハ國際協報、哈爾濱公報、哈爾濱晨光報、東三省商報、東華日報、大北新報、濱江時報、午報及市報ノ九紙ナル處右ノ國際協報、哈爾濱公報及哈爾濱晨光報ノ三紙ヲ以テ一流新聞ト觀ルヘク共ニ社説ヲ掲ケ、東三省商報、東華日報及大北新報ノ三紙ヲ二流新聞ト云フコトヲ得ヘク、大北新報ハ毎日社説ヲ掲クルモ東華日報カ社長辭大可ノ時局及時事問題ニ對スル解説的記事ト時事感想文トヲ掲載スルノ外東三省商報以下濱江時報、午報及市報トモ論説ヲ掲ゲス

B11

0007

REEL No. A-0411

急進的ニシテ共ニ排日ノ急先鋒ト視ラレ居リ時ニ突飛ナ記事ヲ掲ク  
 ルモ當地ニ於ケル一流紙タルヲ夫ハナイ、哈爾濱公報ハ當地支那側  
 ノ機關紙ニシテ官邊ノ擁護ニ務ムルモ前二者ニ比シ比較的公平温健  
 ナル筆致ヲ以テ諸般ノ報道ヲ爲シ居リ最近ハ一頁ノ經濟週刊及婦女  
 週刊ヲ交互ニ添掲シ讀者ノ收收ニ力メツツアリ、東三省商報ハ時ニ  
 興味アル報道ヲ爲シ、東華日報ハ辟大可ノ時局ニ對スル解剖的記事  
 ヲ掲載スルヲ以テ特徴ト謂フヲ得ヘシ

(口) 露字新聞、通信、雜誌

昭和四年十二月末現在ノ當地發行露字紙ハ「ザリヤ」、「ルイボル」  
 「ルイスコエ」、「スロイヴォ」、「グンバオ」及「コムメルチエスカヤ」  
 「ボチター」ノ五紙テアル其内「ザリヤ」、「ルイボル」、「ルイスコエ」

B11

0008

「スロイヴォ」ノ三紙ハ純然タル白系新聞テアル「グンバオ」ハ本  
 年一月迄ハ支那側機關紙トナツテキタカ前特別區行政長官張煥相カ  
 當地ヲ去ツテカラハ官邊ノ補助杜絶シ爾後獨立經營テアルカ其論調  
 カラ見テ矢張り白系新聞ト云フヘク最近ノ「コムメルチエスカヤ」  
 「ボチター」紙ノミカ準勞農系トナツテキルカ其勢力ハ發行部數ヨリ見  
 ルモ明カナルカ如ク極メテ微々タルモノニシテ市民中ニハ其存在ス  
 ラ知ラヌモノモアル

各年ノ本件報告中ニ亦系新聞トシテ記載セラレテキタ「モルヴァ」  
 及「ノイヴォスチ」、「ジニス」ノ兩紙中前者ハ一月六日ノ一記事  
 中ニ英國皇帝ヲ攻撃セル點アリ爲ニ英國領事館ヨリ支那側ヲシテ閉鎖  
 セシメ後者ハ五月二十七日ノ當地勞農總領事館「レイド」ノ事件ニ關

B11

0009

シ奉天首腦中ニモ支那警察ノ行動ヲ非トスルモノアリ云々ノ記事ヲ  
掲ケタル爲七月十八日限り無期停刊トナリ其後ハ「ソ」支紛争ニ累  
ハサレテ勞農新聞ハ一紙モ創刊セラレナカツタ  
右白系新聞ノ對日態度ハ何レモ良好テアル尤モ「ソ」支紛争中日本  
カ「ソ」聯ニ對シ同情的態度ヲ持セルニ對シテハ時ニ脈味ナ筆鋒ヲ  
弄スルコトヲ忘レナカツタ  
次ニ通信トシテハ英紙「ハルビン」オブザ「ヴァー」社長「ビ」ハ  
イトン、フリート」ヲ名義人トスル「アングスタ」通信「ソ」ミテ  
ル同通信ハ前記「モルヴア」紙ノ閉鎖後之ニ代リ出現シ純勞農機關  
トシテ東支紛争中ハ大イニ活動シ時ニハ秘密出版「ハルビン」スカヤ  
「ブラウター」紙ヲ發行シ赤系分子ノ東支ニ對スル「テロル」行爲ヲ

B11

0010

煽動シタ  
最後ニ定期刊行ノ雜誌「ト」シテハ「ルビヨイシ」(白系)「テアトル  
、イ、イスクリストヴォ」(赤系)及「ウエストニツク、マンヂユ  
リ」(一名東省雜誌「東支勞農系機關誌」)等カアル  
(ハ) 英字新聞(前年度同様)  
(ニ) 獨乙新聞  
昭和四年暮「ドイツチエ、マンチユリエ」ナハリヒテン」發刊サ  
レタリ獨乙居留民少キ當地ニ於テ右新聞ノ發刊サレタルニ對シ巷間  
種々取沙汰サレ居リ殊ニ東支事件ニ際シ「ダリバンク」ニ對スル獨  
乙東方借款信託銀行ノ援助行爲等アリタルヲ以テ當時本紙發刊ハ東  
鐵露國間ト何等カノ默契アルニ非サルヤノ觀測ヲ爲ス者アリシカ果

B11

0011

シテ最近ハ別表備考記載ノ通財政上ノ援助ヲ受ケ居ル模様ナリ  
甲、漢字新聞、通信及雜誌類

(4) 新聞  
國際協報

「主義系統」欄(増補) 南北統一後三民主義ノ宣傳ニ力ム

「持主」欄(同) 兼編長、山東掖縣ノ人、市參事會員、奉

天東三省交涉總署トモ聯絡アリ

「主筆又(記者)」欄(同) 編輯、王星岷、張三幹、趙惜夢、王研石

「備考」欄(増補) 日刊十二頁副刊半切大ノモノ一枚發行部

數約三千、發行所道裡新城大街、本紙ハ  
最初長春ニ於テ發行サレ後南洋煙草ノ葉  
元宰ノ援助ヲ受ケ哈爾濱ニ移轉、大正十

B11

0012

年張復生社長トナルニ及ンテ奉天及當地  
各機關ヨリ約一千元ノ補助ヲ受クルコト  
トナリ今日ニ至ル、東北唯一ノ新聞ト云  
フヘク、常ニ新味ヲ取り入レ時ニハ突飛  
ノ記事ヲ掲ク、露字紙「ザリヤ」ト密接  
ノ關係アリト云ハル

對日態度不良

哈爾濱公報

「持主」欄(補訂)

關鴻翼、元東支督辦秘書、特別區地畝管  
理局長總務科長、奈哈爾交涉員、現行政  
長官公署諮議及地畝管理局秘書

編輯長吳士元、編輯張伯達、崔第九、營  
業主任關子誠

「主筆又(記者)」欄(同)

B11

0013



「備 考」備（補訂）

發行部數約二千五百、日刊十二頁、發行所道裡軍官街十二號、本紙ハ最初關氏カ特別區各機關ヨリ資金二萬元ヲ調達シテ創刊シ張煥相カ行政長官當時（十二年）昭和三年）ハ完全ニ長官公署ノ機關紙ト爲リ終ツテ居タ昭和二年末ヨリ個人經營トナリタルモ官憲筋トハ依然關係アリ、論旨比較的温健、對日態度ハ不良ト云フ程ニハアラス

哈爾濱晨光報

「主義系統」欄（増補）

専ラ三民主義ノ宣傳ニ努メ、社會改革ヲ鼓吹スル傾向アリ

「持 主」欄（同）

委員制度

B11

0014

「主筆又ハ記者」欄（増補）

營業部委員長于芳洲、編輯部委員長張燭屏、委員于浣非、趙惜夢

「備 考」備（増補）

大正十一年七月創刊、日刊十二頁、日曜ニハ誌報一枚ヲ添付ス、發行部數約二千發行所傳家街北十四道街  
本紙ハ大正十一年張煥相カ特別區ノ土地事務ヲ接收セル當時土地局ノ收入中ヨリ二十元ヲ支出シタル外資金ヲ一般ニ募集シ創立サレタルモノナルモ大正十五年末共產主義ノ嫌疑ヲ受ケ閉鎖サレ居タル處昭和三年十二月ヨリ再刊サレタリ、本紙ハ論旨最モ急進的ニシテ當地ニ於ケル排日紙ノ急先鋒トシテ常ニ排日的使喚的記事ヲ掲ク

B11

0015

REEL No. A-0411



東三省商報

「持主」欄（訂正）

葉元幸、廣東新會縣ノ人、古キ國民黨員ナルカ大正三年改組以來關係セス、元國際協報ニ關係セリ、從來極端ナル排日家ナリシモ近來ハ寧ロ親日的傾向アリ編輯吳子尙、劉紹季、營業主任劉寶源發行所傅家甸正陽十五道街、社長葉氏ハ國際協報ヲ退社シ南洋煙草ヨリ融資ヲ受ケテ本紙ヲ創刊シ十二年ヨリ個人經營ニ移シ各方面ヨリ毎月六七百元ノ補助ヲ受ケ居ル趣ナリ、本紙ハ經濟記事ヲ主トシ政治方面ノ記事ノ取扱ハ温健ナリ、論說ヲ掲ケス

濱江時報

「主筆又ハ記者」欄（増補）  
「備考」欄（同）

「持主」欄（補訂）

經理范傑卿（以下削除）

「主筆又ハ記者」欄（同）

編輯田禾、文中、范新甫、營業主任呂仲三

「備考」欄（同）

日刊十二頁、附録トシテ消閑畫報一枚添付、發行部數約四百、發行所傅家甸南大街仁義巷、資本金一萬元、范個人經營、元東鐵機關紙遼東報毀滅後其地盤ヲ繼承シ本報ヲ創ム、社説ヲ掲ケス

市報（増補）

「主義系統」

哈爾濱特別市市政局ノ機關紙、市政局布告文一切ヲ掲ク

「持主」

哈爾濱特別市市政局

0017

0016

「主筆又ハ記者」  
編輯主任王奎玉、編輯劉炎、公李侃

「備考」  
昭和二年五月創刊、日刊四頁、發行部數約一千、發行所市政局  
本紙ハ最初哈爾濱公報ノ附屬トシテ刊行サレテ居ツタカ昭和四年初頃ヨリ分離サル、社説ヲ掲ケス

東華日報（客年十一月二十五日附機密第九七六號報告）

「備考」欄（訂正） 發行部數五百

大北新報

「備考」欄（訂正） 日刊四頁、「小型」ノ二字削除） 發行部數約五千

「持主」欄「増補」 發行者佐原篤介

0018

（口）通信  
松花晚報（全部削除ノコト）

（一）國通通信社哈爾濱支社

（イ）所在地 埠頭區東透籠街五號

（ロ）支社長 李侃、日本語ニ精通ス

（ハ）通信蒐配狀況 （増補）一日配布數約五十部

（ニ）華東通信社

（イ）所在地 中國四道街

（ロ）色彩 行政長官公署、教育廳及市政局ト密接ノ關係ヲ有シ之等機關ノ支持宣傳ニ努ム

（ハ）組織 大正十二年七月從招傳カ市政管理局及行政長

0019

(四) 無線電通信社

組 織 (増補)

(口) 公報及雜誌類

一日ノ配布數約百二十部

名稱	主義系統	持主	主筆又ハ記者	備考
市政月刊	東省特別區市同管理局ノ機	同管理局	市政月刊發行部主筆局長 王金五	大正十五年二月刊、發行部數約一千二百
警察週刊	東省特別區警同警察管理處	同警察管理處	大北新報編輯主任 王丕承	大正十三年一月刊、發行部數約一千二百
教育月刊	東省特別區教育廳	同教育廳	教育廳第一課主任 大北新報編輯主任 王丕承	昭和四年三月刊、發行部數約一千
警察彙刊	特別區路警處	同路警處	大北新報編輯主任 王丕承	大正十五年一月刊、發行部數約一千

0021

(日) 光華通信

(イ) 所在地

埠頭區

(口) 色彩

何等特殊ノ色彩無シ

(ハ) 組織

昭和四年三月于浣非カ個人ノ出資ヲ以テ創設シタルモノナリト云ハレ毎日騰寫印刷通信約五十部ヲ配布シ主トシテ地方種ヲ取扱フ

官公署ヨリ一千元ノ出資ヲ得テ創設サレタルモノニシテ現ニ毎年市政局ヨリ六百元ノ補助ヲ受け居レリ、現幹部ハ社長兼總編輯陳公耀(京兆人) 發行人陳紀揚(京兆人) ニシテ毎日約五十部ノ通信ヲ配布シ主トシテ當地方ノ記事ヲ取扱ヒ上海、漢口、北京、天津、奉天等ニモ送致スルト云フ

0020

教育月刊 東省特別區教育會 會員投稿

昭和二年創刊、月刊發行部數八百

東省鐵路東支鐵道會社 東省鐵路經濟主任葉國光

大正十四年三月創刊、月刊發行部數約二千

乙、露字新聞、通信及雜誌類

(イ) 新聞

(イ) ザリヤ(無國籍) (訂正)

(イ) 主義系統

反勞農主義、立憲露西亞帝國ノ再現ヲ力唱ス  
但論調ハ後述ノ「ルースコエ、スロイヴォ」紙  
程過激ナラス

(ロ) 持主

エム、エス、レムピツチ個人經營資本金三萬圓  
北部「コイカサス」生レノ純粹ノ波蘭人、實業  
學校出身、一九一二年莫斯科ニ出テ新聞記者生

B11

0023

活ヲ始メ其後同地著名ノ大新聞「ルースコエ、スロイヴォ」ニ入り大戦當時從軍記者トシテ名聲ヲ博ス、革命當時「ド」河地方ニ走り更ニ西比利亞ニ流レ「オムスク」ニ於テ「ナイシヤ」ザリア」ヲ經營ス、大正九年哈爾濱ニ逃レ現在ノ「ザリア」ヲ創刊シ大正十五年ヨリハ上海ニ於テ「シヤンハイ、ザリア」天津ニ於テ「ナシヤ、ザリヤ」ヲ發行シテキル  
尙哈爾濱ニ於テハ昭和四年一月以降白系露紙「ルースコエ、スロイヴォ」及「ルイボル」ノ權利ヲ約半數買收シタル上八月ニハ近年上海ニ於ケル露西亞人口カ不斷ニ増加シツツアルノ傾向ニ養着目シ他面「ソ」支紛争ニヨル身邊ノ危険ヲ慮リ畢業中心ヲ上海ニ移シ自身モ同地ニ轉住シタ

B11

0022

(ハ) 主筆又ハ記者

(一) 主筆

レムビツチ

(二) 編輯長

ケ、エヌ、シブコフ

年 齡 三 十 八 年、當 初「ペテ ル ブルグ」ニ 於 テ 小 新 聞 記 者 タリ シ カ 革 命 當 時 西 伯 利 亞 ニ 走 リ「オ ム ス ク」政 府 ノ 國 立 出 版 部 ニ 勤 務 ス 現 在 ノ「デ リ ア」ニ ハ 刊 行 當 時 ヨリ 參 與 ス 建 筆 家 ナ ル モ 横 羽 ニ シ テ 殆 ン ト 筆 ヲ 手 ニ セ ス

次 長

(三) 記 者

ミハイロフ(論說備)

サトフスキ、ルヂエフスキ(批判欄)

アスターホフ(批判欄)

シロフ(政治備)

ツイルコフ(同)

(ニ) 備考備

大正九年四月十五日創刊、日刊四乃至六頁、年中無休、日曜日ニハ八乃至十頁、發行部數八、〇〇〇、本紙ハ最初「レムビツチ」シブコフ一及「ミハイロフ」革命内亂當時ノ「オムスク」市「コルチャツク」政府ノ大藏大臣ノ共同出資ニヨル然シ最初二ケ年大損失ヲ蒙リ之カ救済ノ爲當地巨商「コワリスキ」其他ノ融資ヲ仰キ尙「セメモ」ノフ「ヨリモ」少額ノ補助金ヲ受ク勞農勢力ヲノ進入スルニ及ビ「レムビツチ」ハ一時元東支鐵道經濟局長「ヂーネ」ニ接近セルコトアリシモ將來ニ見切リ付ケ之ヲ離レ報道ノ迅速「センセイ」シヨ「惹起」主トシ且知名ノ在巴里白系露人ノ文ヲ掲載スルニ至レル結果事業次第ニ隆盛ニ赴ク

B11

0025

0024

B11

一九二五年「ミハイロフ」「シブコフ」ハ其權利ヲ全部「レムビツチ」ニ譲リ「レムビツチ」一人ノ經營トナリ現在テハ當時言論界ニ偉大ナル勢力ヲ有スルニ至ツタ、一ケ年ノ純益一萬五千乃至二萬圓ニ達スルモ地方露人ノ窮迫ニ伴ヒ近來減少ノ傾向カアル、勢力範圍ハ哈爾濱、東支沿線ニシテ約五百部ヲ海外ニ發送シテキル、讀者ハ各階級ニ有シテキル、支那官憲、東支要人等ニ接近シ對日感情モ良好

ロ) ルースコエ、スロイゾフ (無國籍) (訂正)

(イ) 主義系統

(ロ) 持主

帝政露國ノ復興ヲ理想トスル極端ナル反過激派「ア、イ、コロボフ」及「レムビツチ」ノ共有資本金五千圓、代表者「ア、イ、コロボフ」、

B11

0026

年齢四十七歳、醫師兼辯論士「サマウ」市ノ有名テアル、革命當時「オムスク」市「コルチャツク」政府ノ獨立出版部ニアリ後哈爾濱ニ來リ「ルースコエ、スロイゾフ」ノ創設當初ヨリ之ニ參與ス、一方民族統一團長トシテ自系政治團體ノ活動ニモ參與シテ居ル

B11

0027

(ハ) 主筆又ハ記者

(イ) 主筆

(ロ) 記者

「ア、イ、コロボフ」

「コルチャコフ」(政治編、社説)

「フォン、ジベルグ」

「リヤゼンツエフ」

「ウエセロフスキ」

(ニ) 備考

大正九年六月創刊、日刊六乃至八頁、祭日翌日ハ休刊、發行部數一、五〇〇、本紙ハ「ホルワ

ット一將軍ノ舊友ニシテ元國會議員「ヴオスト  
 ロチン」カ東支鐵道後援紙「ハルビンスキ」、  
 ヴエストニツク」ノ閉鎖後西伯利亞ヨリ撤退セ  
 ル「コルチヤツク」政府ノ野戦印刷局ト共ニ同  
 紙財産ヲ讓受ケ「ル」スキ「ゴロス」紙ヲ逐  
 行セルニ初マル、當初ハ比較的好成績ヲ收メ自  
 系思想界ノ最大權威テアツタカ東支鐵道カ赤化  
 シ同鐵道ヨリノ補助金支出地ユルヤ財政的危機  
 ニ遇ヒ一九二五年「ワオストロチン」ニ代リ「  
 スパスキー」主筆兼代表者トナリ現在「ル」  
 スコエ「スロ」ヴオ」ト改名シ在西歐自系諸國  
 体ノ援助ニヨリ一時ハ盛り返シタルモ再ヒ財政  
 難ニ陥リ依テ「コロボフ」ノ手ニ移リ「コロボ  
 フ」ハ昭和四年一月「ザリヤ」紙持主「レンビ

B11

0028

ッテ」ニ所有權六割ヲ讓リ稍面目ヲ一新シテ今  
 日ニ及ンテキル、其説ク所報スル所ハ露骨ナル  
 反勞農的色彩ヲ帯ヒテキル、勢力範圍ハ哈爾濱  
 ヲ主トシ東支沿線ニ約三百、海外ニ約二百設  
 シテキル對日感情ハ良好ナルモ我對勞農親善政  
 策ニ對シテハ嫌味ヲ吐ク

B11

0029

③ル」ポル（無國籍）訂正

(イ) 主義系統  
(ロ) 持主

民主主義反過激派自系  
 「エ、エス、カウフマン」個人經營、資本金一  
 萬圓、年齢四十一歳、猶太人、曾テ「ブラゴヴ  
 エ」チエンスク」ニ於テ新聞記者、金礦業機關  
 ニ勤務セルコトアリ其後浦鹽ニ於ケル「ザリヤ  
 ヤ、オクライナ」紙ノ記者トナリ同地ノ亦化後  
 哈爾濱ニ來リ「ミルレル」ト共ニ現「ル」ポル



一紙ノ買収經營ス從來温健ナル社會主義派ニ屬シ常ニ社會革命家團ト聯絡ツ有セシカ個人的連絡ハ別トシテ現在ハ全ク同派ヲ離レルニ至ツタ潔白ノ紳士ニシテ當地社會各方面ニ知已多ク猶太人ナルニモ拘ラス白系諸人間ニハ評判良シ、(註)諸情報中ニ表レ來ル當地猶太人協會長トシテ大ナル勞力ヲ擁シ亦派ニ共鳴スル醫師「カウフマン」ト混同スルモノアリ要注意)

ハ主筆又ハ記者

(一)主筆 エ、エン、カウフマン

(二)記者 ペデンコ(筆名ズワラツエフ)

カルパクチ

ネスメーロフ

ペトロフ

B11

0030

(二)備考

大正十年刊、日(夕)刊四十八頁、年中無休發行部數五、五〇〇、當地唯一ノ夕刊(但シ午後一時頃絶達)ニシテ年純益一萬二千乃至一萬五千圓アリ、勞力範圍ハ殆ト哈爾濱市内及東支沿線ニ限ラル、肩書シキ記事ナク各階級ニ讀者ヲ有シ殊ニ婦人讀者甚タ多シ、反勞農的論調ハ「ルースコエ」スロイツォーニ並イテ露骨デア、對日感情悪シクナイ

(四)ダンバオ(支那籍)(訂正)

(イ)主義系統 支那民族主義、反勞農主義ヲ標榜シ支那人利益ノ擁護ニ努ム

(ロ)持主 關鴻翼(漢字公報参照)ノ個人經營、資本金二萬圓

B11

0031

ハ主筆又ハ記者

(一) 編輯長

ウセウオロド、エヌ、イワノフ「ペテルグラ  
ード」大學卒業後獨乙ニ留學シ哲學ヲ修ム其後  
「ペルム」大學教授トナリ「ウスドリヤ」ロフ  
「博士ト共ニ同大學ニ教鞭ヲトル、革命當時一  
コルチャツク」軍ノ部下ニ入り白軍ノ宣傳ニ努  
ム、一時哈爾濱ニ來リ當地白系新聞雜誌ニ執筆  
セシモ浦鹽ニ「メルクル」ロフ「政府ノ樹立スル  
ニ及ンテ同地ニ赴キ其機關紙ノ經營ニ當ル、一  
メルクル」ロフ」ノ天津落ト共ニ同地ニ赴キ張宗  
昌顧問トナレル「メ」ノ援助ヲ受ケ「ナ」シ  
「ブ」チ「紙ヲ發行ス、其後支那内亂ノ結果右新  
聞ヲ放棄シ再ヒ哈爾濱ニ來リ現在ノ公報「ダン  
バオ」社ニ入り現職ニ至ル、信念必スシモ強固

B11

0032


(二) 備考欄

ナリト云ヒ得サルモ學識豊富ニシテ在外露人社  
會ニアリテハ著名ノ思想家テアル  
ゼーレン（論說、政治欄）

コズロフ

チエルカソフ

アレイニコフ

昭和元年十二月創刊、日刊六乃至十頁、祭日翌  
日休刊、發行部數三、本紙ハ露テ東支  
鐵道ニアリシ「メリク」ワルタニヤンツ「カ一  
九二四年來支那側ニ露文機關紙發行ノ計画アル  
ヲ知り關鴻翼ニ對シ内密ナル「ソ」機關ノ援助  
ノ下ニ之カ實現ヲ提議シ昭和元年十二月時ノ特  
別區行政官張煥相（關ハ當時張ノ秘書）ノ補  
助ヲ受ケ創刊シタルモノテアル、「ソ」編輯ハ

B11

0033

REEL No. A-0411

東支鐵道露開幹部ノ政策ヲ擁護シ其活動ヲ默過  
スル場合同紙ニ對スル凡ユル援助ヲ惜マサル旨  
ヲ約シ廣告料其他ノ形式ニ於テ東鐵ヨリ莫大ノ  
補助ヲ受ケタル爲東鐵「ソ」支幹部間ニ抗争ヲ  
見サル迄ハ社業大イニ發展シタ、其後本紙カ「  
ソ」聯ト提携シ居ルコト漸次曝露スルニ及ビ行  
政長官公署ノ不滿ヲ買ヒ且「メリク」ノ行動ハ  
持ニ非難サレタル爲同人ハ自己ノ保身策ヨリ反  
宗教宣傳ノ兼ヲ以テ時ノ東支「ソ」調理事「ゲ  
ツケル」ヲ痛罵シ勞農トノ聯絡ヲ絶ツニ及ビ固  
難ナル立場ニ陥ツタ、一方長官公署ハ同紙ニ對  
スル不滿ヨリ遂ニ關及「メリク」ヲ罷免シ權世  
恩及白系操狐界ノ權威「サトフスキ」ルチエ  
フスキ「」ハ現在「ザリヤ」紙ニ執筆「」ヲシテ

B11

0034

之ニ當ラシムルコトナツタ然ルニ右改組ハ  
勞農側ノ反感ヲ買ヒ東鐵トノ聯絡絶へ補助廣告  
料金ヲ得ル能ハサルニ至リシヲ以テ東支管理局  
庶務課方面及勞農側ト聯絡アリシ元同紙主筆「  
ウエイスイ」ヲ聘シ「サトフスキ」ルチエフス  
キ「」ニ代ヘタルカ支那ノ對露侵出愈々急ナル  
ニ及ビ同人ノ勞農側トノ接觸ハ支那側ノ同情ヲ  
買フトコロトナラス一九二八年東鐵西部線ニ於  
ケル蒙匪事件ニ際シ事態特ニ困難ニ陥ツタ、當  
時本紙ハ全ク「ボリシエグイキ」機關紙ニ墮シ  
タ、其後現任行政長官張景惠及教育廳長張園忱  
ハ再ヒ本紙ノ改組ヲ企畫シ舊友ニシテ舊社長タ  
リシ關鴻翼ヲ社長ニ「イワノフ」ヲ編輯長トシ  
タ、支那側機關紙ノ名稱ハ右改組一ヶ年前既ニ

B11

0035

REEL No. A-0411

因コムメルチエスカヤ、ボチタ「ソ」聯轄（追加）

(4) 主義系統

撤去シタルモ本年「ソ」支紛争當時ハ専ラ支  
那側ノ行動ヲ擁護シ御用紙振リヲ發揮スル一面  
勞農側ニハ痛ク當リ「レンビツチ」系諸紙ト共  
ニ反「ソ」共同戦線ヲ敷イテ居ル觀カアル、勞  
力範圍ハ哈爾濱ヲ主トシ東支沿線ニ約四百發送  
シテキル、支那諸官衙ノ布告類ヲ確實ニ掲載ス  
ルタメ内外諸官廳、商人等ヲ主ナル購讀者トシ  
テキル、對日感情不悪ナルモ我對「ソ」親善傾  
向ニ對シテハ事アル毎ニ擲論スルコトヲ怠ラス

(口) 持主

「サドフスキー」個人經營、資本金額不明、  
「サ」ハ商人出身、曾テ各新聞ノ廣告取りニ從事  
セシ若年者人物拙劣、新聞事業經營巧ナラス

(ハ) 主筆又ハ記者

(一) 主筆

サドフスキー

(二) 記者

アキーモフ（元サマラ縣貴族會長兼「セムスト  
ヴォー」會長）  
ラヴロフ

(ニ) 備考欄

昭和三年一月創刊、週刊（毎月曜日發行）四  
六頁大、發行部數約三〇〇、本紙ハ最初純然タ  
ル商業新聞トシテ發行ノ豫定ナリシモ資金難ノ  
タメ英國籍猶太人「フリット」ハ「アンガスタ通  
信參照」ノ名義ヲ藉リ當時支那官憲ノ壓迫ニ遭  
ヒ新聞發行自由ナラサル「ソ」聯轄ノ援助ヲ求  
ムルニ決シタ、斯クシテ「ソ」聯轄ヨリ東支鐵  
道ノ廣告料等ノ形式ニヨリ多少ノ援助ヲ受ケ、  
勞農ノ經濟事情宣傳ニ努メツツアルモ主筆ノ經

0036

0037

營、編輯香シカラサルタメ一向發展セス又右補助金モ制限的ナルタメ現在テハ個人商人等ニ對シ廣告料ヲ強要シテキル、市民ノ大多數ハ本紙ノ存在ヲスラ知ラヌ有様テアル

(ロ) 通信

「アングスタ (Anglo-Asiatic Telegraph Agency) (追加) (英國籍)

(イ) 主義系統欄

共產主義勞農政治謳歌、英國籍

(ロ) 持主欄

ビー、ハイトン、フリート、舊名ヲ「ザワールド」云ビ露西亞「オデツサ」生レノ猶太人ニシテ帝政時代主義者トシテ海外ニ亡命シ歐州戰爭當時ハ獨乙軍事探偵トナリ露領ニ潜入シ活動シタ、現在「ハルビン」オプザイヴァーヲ經營シ其他既記勞農系「コムメルチエスカヤ、ポチター

B11

0038

(ハ) 主筆又ハ記者

(一) 主筆

紙及勞農系週刊雜誌「テアトル、イ、イスク」ストヴオ」ノ名義人トナツテキル

(二) 記者

「レフコフスキ」發刊トナレル勞農機關紙「モルヴァ」ノ主幹、數年前當地ヨリ渡日セル「オペラ」團中ニ音楽師ヲ裝ヒ不正入國シタルコトカアル常ニ排日毒筆ヲ弄ス  
「ベリヤフスキ」  
「ヴオズネセンスキ」

(ニ) 備考欄

一九二九年二月創刊、本通信ハ本年一月勞農機關紙「モルヴァ」カ閉鎖サレタル爲其社長タリシ不節漢「ネチキン」ハ白軍ノ教官上リ、最初哈爾濱「ザリア」紙ニ入り「ニツケ、デヴィリ

B11

0039

「ナル假名」下ニ雜報記者タリ、一九二四年「ザリア」ヲ「アリア」ト共ニ「モルブア」ヲ創刊ス後資金難ノタメ勞農機關紙「トリブ」ナ「カ支那」ヨリ閉鎖サレタトキ之ヲ勞農側ニ賣却シ自ラハ名義上ノ發行人トシテ殘テホタノテアル「カ英人」フリート「ノ名義ヲ以テ出現シタモノテアル」ソ「支紛」前ハ露骨ナル宣傳的記事ノ報道ハ差控ヘキタルモ「ソ」支紛爭カ悪化シ東支ニ對スル亦系分子ノ妨害乃至恐佈行爲カ開始サルルヤ大連ニ避難シタ「ネチキ」ニ代リ「レフコフスキ」カ入社シ常ニ之カ煽動的筆鋒ヲ用ヒ一時ハ秘密出版「ハルビン」スカヤ、プラウダ「紙」ヲ發行シタ、日刊、發行部數約三百、各地ノ勞農機關ヲ支社トシ之ヲ通

0040

シ情報ヲ蒐集スル外「ハバロフスク」及浦鹽等ノ「ラデオ」ヲ秘密ニ聽取シ大連來電トシテ掲載シテ店ル

(ハ) 雜誌

(ニ) ルビヨーン (追加) (無國籍)

(イ) 主義系統欄

記事ノ點カラ見レハ政治的色彩ナク一般向ノ興味本位ノ雜誌ナルモ同人ノ顔振レハ白系テアル

(ロ) 持主欄

「ル」ポール「紙」社長「イエ、エス、カウフマン」  
 「ザリア」紙社長「レムビツチ」同主幹「ン」  
 「プロフ」三名合同組合組織ナルモ社長ハ「イエ、エス、カウフマン」資本金二千圓

(ハ) 主筆又ハ記者

(ニ) 主筆

イエ、エス、カウフマン

0041

(二) 備考欄

昭和二年十一月創刊、週刊、發行部數三千、最  
初ハ當地露人廢疾者組合ノ創設セルモノニシテ  
「ツイガール」編輯ノ下ニ第三號迄發行、内容  
ハ露人作家ノ小説ノ他歐米發行ノ文藝、科學、  
映画雜誌記事ノ譯載及同爲眞ノ轉載シタルモノ  
カ多ク、勢力範圍ハ哈爾濱東支沿線ヲ主トシ極  
東各地ニ散布サレテモル

□テアトル、イ、イスクーストヴォ（追加）（英國籍）

(イ) 主義系統欄

「ソヴィエト」ノ「プロレタリア」文學及藝術  
ノ宣傳

(ロ) 持主

「ビー・ハイトン、フリート」(本人ニ關シテ  
ハ「アングスター」通信記事参照)ノ個人經營、  
資本金額不明

(ハ) 主筆又ハ記者

職務者

ボルウィフ  曾テ日本製紙ノ仲買商ニ從事シ  
タルモノニシテ現在勞農働ニ轉シタ

(ニ) 備考欄

昭和二年十一月創刊(但シ現在不定期)發行  
部數一千内、主トシテ勞農國內出版ノ文藝ニ  
關スル雜誌、小説ヲ轉載シ、從トシテ海外雜  
誌ノ一般科學的記事爲眞ヲ掲ク、本誌ハ東歐  
俱樂部演劇部ヲ擔當セル「トルツプ」ノ發見  
ニヨリ東支俱樂部  以テ「ソー」聯演劇  宣  
傳スル目的ノ下ニ英人「フリット」ノ名ヲ借  
リ創設セルモノテアル「フリット」ハ單ニ名  
ノミニ止マリ事實上ノ編輯ニハ有力ナル共產  
黨員カ之ニ當ツテ居ル、勢力範圍哈爾濱、最  
近事業不振

0043

0042



④ ヲエストニツク、マンヂユリー（追加）

(イ) 主義系統欄 東支鐵道機關雜經濟雜誌

(ロ) 持主欄 東支鐵道經濟局編輯「東鐵ノ支出經費年額七萬金留内外

(ハ) 主筆又ハ記者欄

(一) 編輯長

レフコフスキ「フアンガスタ」通信主筆ト同一人」尤モ表面ハ東支經濟局主編者「カイチン」及伊里春カ幹部トナツテキル

(ロ) 記者

「カルイチス」(黨員元「モルヴァ」紙記者)其他

(ニ) 備考欄

月刊「原則トシテ月刊ナルモ實際ニ於テハ若干ノ遅速アリ」一九二〇年創刊但シ當時ハ「マンヂユリースキ」、ヴエストニツク「ト稱シ一九

B11

0044

④ エコノミィチエスキ、ヴエストニツク（追加）（日本籍）

(イ) 主義系統

日露協會系

(ロ) 持主

哈爾濱日本商品陳列館

二四年ニ現稱ニ變ス主トシテ東支ニ於ケル經濟

専門家及地方學者ノ研究調査ニ係ル北滿經濟界

ニ於ケル東支ノ活動、北滿ノ一般自然ニ關スル

權威アル論文ヲ滿載シ主要ナル論文ニ對シテハ

英語文ヲ附シテキルカ此ノ外勞農國內ノ經濟事

情ヲ宣傳的ニ誇張シ轉載シテキル、發行部數約

一千内約五百ハ勞農國內ニ發送セラル本誌ハ史

ニ附録トシテ「エコノミィチエスキ」、ビユレ

テン「(經濟週報)ヲ發行シ有益ナル資料ヲ掲

ケテ東支ノ狀態及一般北滿事情ヲ紹介シテキル

B11

0045

ハ主筆又ハ記者 職員分擔

ニ備考

昭和二年九月一日創刊、月刊、發行部數三百、日本及北滿ノ經濟事情ヲ露人及露語ヲ解スル支那人ニ紹介スルヲ目的トシテキル、勢力範圍滿州及露領

丙、英字新報

(一) ハルビン、デーリーニユース(米國籍)

(イ) 主義系統 不偏不黨保守的

(ロ) 持主 「ヘンリー、グイデー」一九一五年「レニングラード」ニ於テ同地唯一ノ英紙「ルンヤン、デーリーニユース」ヲ經營シタコトカアル、

資本金五千圓

(ハ) 主筆又ハ記者 「ヘンリー、グイデー」

(二) 備考

大正八年創刊、日刊(但シ日曜休刊)四頁、發行部數二百、論說欄ナク又報道モ遲シ、對日感情良好

(ロ) ハルビン、オブザイヴァー(英國籍)

(イ) 主義系統 嚴正中立ヲ標榜スルモ支那官憲ト特殊關係ニアル外最近數年來ハ勞農側ニモ接近シ殊ニ本一九二七年一月ヨリハ勞農側ト密接ニ聯絡シ記事ニモ亦頗ヲ帶フコトアリ

(ロ) 持主 「ビー、エツチ、フリート」個人經營、資本金一千五百圓、舊名「サット」云ヒ露西亞「オデツサ」市生レノ猶太人商人ニシテ帝政時代主義者トシテ海外ニ亡命シ歐州戰爭當時ハ獨乙軍事探偵トナリ露領ニ潛入シ活動シタ當理ニ於テハ本紙ノ外露文勞農系「コムメルチエスカヤ」ボ

0047

0046

REEL No. A-0411

「ビエ、エツチ、フリート」

大正十四年創刊、日刊四頁菊版、日曜休刊、發行部數約二百、論說ヲ掲載セス報道量少ク且遲シ、對日感情ハ不良不悪

チター紙、同機關通信「アングスター」及勞農文藝宣傳ノ「デアートル、イ、イスクリストヴオ」誌ノ名義人タル他一英語夜學校ニモ名義ヲ貸シテキル、潔白ノ士ニ非ス、金錢ニヨリ働ク人物

丁、獨文新聞

「ドイツチエ、マンチユリエ、ナハリヒテン（追加）（獨乙種）」

共和主義、對「ソ」親善、勞農ト提携シ極東ニ於ケル獨乙ノ舊經濟勢力ノ挽回ニ努ム

獨乙人「バルテルス」及「クレイ」ノ合同經營

資本金約五萬馬克

(ハ) 主筆又ハ記者

(一) 主筆  
「クレイ」獨逸工場ノ代表者タル商人、永ク西伯利亞ニ居住シ大戰當時獨探トシテ活動、哈爾濱ニ於テ商業ヲ營ミ失敗ス

(二) 主筆  
「クンスト」博士（次項参照）

(三) 記者  
ペンデル

ワシリネル

其他露人數名

(ニ) 備考

昭和四年十二月創刊、日刊（月曜日休刊）六一八頁大日曜日ニハ本國ヨリ送附シ來ル科學論報ヲ添附ス、發行部數一千五百、但シ當地ニ於テハ其中約二百ヲ消化シ殘餘ハ極東各地ニ郵送、在滿獨乙人ノ増加ニ伴ヒ獨文新聞ノ發行ノ計畫

0048

0048

邦字新聞、通信及雜誌類

ハ以前ヨリ存シタカ一九二九年末ニ至リ當地一流ノ機械輸入店（帝政時代ハ百貨店）「クンスト」アリベルス一商會主ニシテ記者ノ經驗ニ富ル「クンスト」主宰ノ下ニ本紙ノ發行ヲ見ルニ至ツタノテアル、然シ當初ノ色彩ハ全ク右傾的ニシテ一部人士ノ不滿ヲ買ヒ且財政難ノ爲「クンスト」ハ之ヲ現在ノ「クレイ」及「ウルテルス」ニ賣却シタ、兩者ハ色彩ヲ變更シテ東支管理局「ソ」聯調「下」連絡シ必要ニ應シ「ソ」聯調ノ機關紙タルヘキ條件ノモトニ現在鐵道ヨリ廣告料トシテ月額二五〇留ノ支給ヲ受ケ別ニ一部商會ノ補助アルモ經營ハ依然困難ノ狀態ニアリ

0050

B11

露西亞通信	哈爾濱通信	哈爾濱日日新聞	主 義	持 主	主 筆	部 數 資 本 系
ケル政治經濟狀況ノ報道	中立	中立	佐藤四郎	大河原厚仁 大森清騰	藏土延次	大正十年創立滿鐵系株式會社（二十萬圓）發行部數約一千、哈爾濱東支沿線及南滿諸地方ヲ勢力範圍トス朝刊四頁
同	同	同	同	同	同	大正七年創刊持主ノ個人經營（財産約五千圓）ノ形式ナルモ實質上現在國際運輸株式會社ノ經營ト云フヘシ發行部數約五百哈爾濱及東支沿線ヲ勢力範圍トス朝刊四頁
同	同	同	同	同	同	昭和二年創刊個人經營發行部數二五〇滿鮮及內地官廳等ヲ勢力範圍トス内容露字新聞ノ誠

0051

B11

露亞時報	露滿蒙ニ關スル經濟記事	哈爾濱商品實珠山彌高	謄ヲ主トス、日刊
哈爾濱商品陳列會パンフレット	露滿蒙ニ關スル政治經濟的記事	同右	大正八年創刊發行部數 六百滿鮮及日本内地ヲ 勢力範圍トス
			大正十二年創刊發行部 數三百、露鮮ヲ勢力範 圍トス月二回刊行

三田雅容	日本新聞聯合社	支社長
中山貞雄	大阪朝日新聞社	特派員
小林英生	大阪毎日新聞社	同右
本橋壽一	日本電報通信社	同右
秋山豐三郎	滿洲日報社	支局長
堀江義一	長春實業新聞社	通信員
藏土延次	京城日報社	同右

0052

島崎 雄 大連新聞社  
 通信員

山本 久 治 盛京時報社  
 同右

尙帝國通信ハ四年秋廢刊サレ、露西亞通信社ハ五年二月初ヨリ漢文通信ヲ一時中止シタリ

0053

伯國サンパウロ州新聞概説

サンパウロ州ニ於テ發行セラル、新聞雜誌ハ總計參百餘種ニ上ルカ  
 サンパウロ市以外内奥都市發行ノモノ、内購讀ニ値スルモノハサン  
 トスノツリブリーナ紙位ノモノテ他ハ概ネ内容外觀共ニ貧弱ニシテ購  
 讀者ハ其地万人ニ限ラレ從テ發行部數ノ僅少ナルハ言フヲ俟タナイ  
 文化未タ普遍セサル國柄トシテ又止ムヲ得サル現狀トセネハナラヌ  
 サンパウロ州ノミナラス伯國全般ニ亘リ雜誌類ノ發達遲々トシテ進  
 マス外國雜誌ニヨツテ其ノ缺ヲ補フテ居ル風カアル 尤モ特殊協會  
 ノ機關雜誌中ニハ相當權威アルモノナキニハ非ラサレトモ科學者、  
 文學者、政治家等ハ其論文發表ニハ大新聞ヲ利用スル風アリ 當地  
 エスタード紙ノ如キ屢々此種論說ヲ掲載スル  
 サンパウロ市發行ノ主ナル新聞ハ約二十種テアルカ是等ヲ其傾向カ  
 ラ見レハ

- 一、主義言論ヲ本位トスルモノ
- 二、興味報道本位トスルモノ

0055

BII

情報部

第二課

昭和五年五月拾日 接

別紙添付

BII

機密公第 四八號

昭和五年三月十三日

在サンパウロ

總領事 中島清一



外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

伯國サンパウロ州諸新聞ニ關スル報告書進達ノ件

當州發行諸新聞ノ主義、社長、傾向等別紙ノ進報告ス

0054

105

ノ二種ニ分類スルコトカ出來ルカ一般ニ通スル傾向ハ興味報道本位ト見ルノカ當ツテ居ル 二三政黨機關紙ヲ除キ何レモ獨立ヲ標榜シテ居ルカ一般ニ發行部數僅少ナルカ爲ニ各種名目口實ノ下ニ政府當局若クハ政黨關係方面ヨリ間接ノ援助ヲ得テ居ルモノカ多イ 單リエスタード紙ノミハ此間ニ在ツテ經濟的ニ全然獨立シ富ニ傳統の品位風格ヲ維持シ他ノ追従ヲ許サヌ風カアル 其言論力社會ニ重キヲ爲ス所以テアル

本年三月ノ大統領改選及聯邦下院總選舉ヲ控ヘ昨年以來當地新聞界ハ著シク政黨的色彩ヲ増シ一ハ古來ノ政府與黨タル共和黨ヲ支持擁護シ他ハミナス、リオ・グランデ・ド・スル及パライバ三州統領ヲ首班トスル自由聯盟派ヲ聲援シ互ニ競ヲ削ツテ論戰相務メテ居ル如斯現象ハ蓋シ當國新聞界ニ會テ見サリシ所ニシテ從來ハ政府與黨タル共和黨ノ推薦スル候補者ヲ無條件ニテ當選セシムル慣習ナリシカ先年サンパウロニ民主黨リオ・グランデ・ド・スル州ニ自由聯盟ナル新黨組織セラレ今日ノ大統領改選ニ際シテ右政府反對兩黨ハ結

BII

0056

東シ自黨ヨリ別ニ大統領立候補者ヲ出タシタル爲ニ政争ハ遂ニ白熱化シ外字新聞及二三新聞ヲ除キテハ何レモ此間中ニ投シサテハ當地新聞界モ政治的色彩カ濃厚トオツタ譯テアル

對 日 態 度

一九二八年ニ至リ州政府ハ傳統的補助移民制度ヲ中止シ珈琲園ニ對スル勞力供給ヲ自由移民ニ依テ行フコト、ナツテ以來耕地ニ於テ収モ必要トスル家族移民ノ入州ハ頓ニ其數ヲ減シ爾來日本カ家族移民送出本國ノ第一ヲ占メ日本移民ハ益々尊重セラル、コト、ナツタサレハ是レ迄時折日本移民及在伯日本人ニ關シ香ハシカラサル記事評論ヲ掲ケタル新聞モ口ヲ緘シテ排日的記事ニ筆ヲ染メス 其態度ハ實ニ近年ニ見サル程カナモノテアツタ 尤モ各新聞ハ本年三月ノ大統領改選ヲ控ヘ政治問題ニ多忙ヲ極メタル爲移民問題ヲ論スル暇カ無カツタト見ラレナイテモナイカ前記ノ通近年日本移民ヲ度外視シテ耕地勞力供給ヲ考ヘルコトガ出來得ナクナツタ情勢カ此結果ヲ質ラシタト見ル方カ當ツテ居ルタロウ 唯此所ニ見逃スヘカラサルコ

BII

0057



入州スル外國人ニヨリ益々其色彩濃厚ヲ加ヘテ居ルカ爲ニ近來外  
 字新聞類ハ大ニ増加シ各國居留民中之ヲ有セサルモノナク其大ナル  
 モノハ日刊小ナルハ週刊テアル 此等ノ中内容外觀共ニ大新聞ノ体  
 ヲ爲スモノニ伊語フアンフイラ紙及獨語ドイツチエー。ザイツング  
 カアリ多數ノ居留民ヲ擁スルカ故ニ其發行部數モ伯國大新聞ニ匹敵  
 シテ居ル

近年學生間ニ愛國運動稍々旺盛トナリ外字新聞中伯國事情ヲ亦裸々  
 ニ發表スルモノアルトキハ之ニ對スル報復手段トシテ新聞社ノ燒打  
 ヲ斷行スル風習ヲ生シ一昨年伊語及英字新聞ハ此厄ニ連ヒ爾來外字  
 新聞ハ學生等ノ神經ニ觸ル、此種記事ノ掲載ヲ遠慮スルコト、ナツ  
 タ

通 信 社

當地新聞ニ電報通信ヲナスモノニハユイ。ビー社、ハーヴァス社、  
 アゼンシア。アメリカーナ社カアリ内前二者ノモノガ較モ多イ 東  
 洋ニ關スル電報ハ殆ンドユイ。ビー社ノモノニ限ラレテ居ル

0059

BII

トハ日本ニ關スル記事評論中移住組合ノ事業ヲ評論スルモノヲ生シ  
 日本ノ組合ハ私營會社ノ假面ヲ冠ムリ盛ンニ廣大ナル土地ヲ購入シ  
 之ニ植民ヲ入レテ居ルカ組合ハ日本政府ノ後援ニヨツテ事業經營ニ  
 當ルモノナルカ故ニ日本政府ノ代行機關テアルト論シ世人ニ警告ヲ  
 與フルモノ、アルコトテアル 移民其モノニ反對スルコトノ不利ヲ  
 知リテ彼等ハ先ヲ組合ノ事業ニ轉シタモノト思ハレル 然リト雖  
 當地新聞ハ日本ニ關スル記事ニ筆ヲ染ムルレバ即チ惡言ヲ放ツト云  
 フ譯テハナイ 日本カ僅々五十數年ノ短日月ノ間ニ實現シタル業績  
 ヲ賞賛シ又教育ノ普及セルコトヲ激賞シ伯刺西爾ハ宜シク教育普及  
 上軌ヲ日本ニ執ルヘント論シ又或者ハ在留日本人ノ勤勉ニシテ伯國  
 開拓ニ貢獻シツ、アルコトヲ譽ラ極メテ推賞スルモノモアル  
 要スルニ一般的ニ近年對日態度ハ大ニ緩和セラレ猥リニ惡評ヲ敢テ  
 スルモノヲ見サルニ至ツタコトハ事實テアル

外 字 新 聞

伯國ノ都市中テモサンパウロ市ハ較モコスモボリタント併セラレ年々

0058

BII

エスタド紙ノ如キ大新聞ハ歐洲方面ノ電報ハ在外通信員ヨリ直接  
 接受スル。エスタド紙ハ日本ニ於ケル重要事件ノ詳細ナル電報ヲ  
 掲ケルコトアルカ此種電報ハ同紙ノ特電ニシテ通信社ノ發スルモノ  
 テナイカ其出所ハ明カテナイ  
 内國通信社トシテアゼンシア。ブラジレイラナルモノガアルカ其ノ  
 活動範圍至ツテ狭ク當地各新聞ハ此通信社ヲ利用スルコト稀ニシテ  
 多クハ他州ニアル支社若クハ通信員ノ發スル電報ヲ掲ケルノカ常テ  
 アル

BII

0060

6.

サンパウロ市 人口 一,〇〇〇,〇〇〇  
 主義特色 持主 主筆又ハ記者

備考

O Estado de São Paulo. 獨立  
 エスタド。サンパウロ  
 Nestor Rangel Pestana.  
 Plínio Barreto.

其ノ發行部數ヨリ云フモ將  
 父記事論說ヨリ見ルモ伯國  
 新聞界ノ巨頭ト云ハサルヲ  
 得ス。伯國新聞中經濟的ニ  
 眞ニ獨立シ從ツテ政府ノ施  
 政其他各種ノ問題ニ嚴正批  
 判ヲ下シ公平ニ輿論ヲ指導  
 スル。著名ナル學者、政治  
 家ノ奇習ニ富ムノモ本紙ノ  
 特色テアル  
 發行部數ハ昨年ニ比シ三割  
 増加シ八萬ト稱ス  
 日曜版及特別號ハ十萬乃至  
 十二萬テアル  
 純然タル政府與黨機關紙ニ  
 シテ半官報テアル。政府及  
 共和黨ノ施政ヲ擁護推賞シ  
 反對黨派新聞論說反駁ニ汲  
 々タルモノアリ  
 本紙文藝欄ハ相當權威アル

0061

O Correio Paulistano. 聖州共和黨  
 機關紙  
 社長 Edgar Nobre  
 Abner Morrao. de Campos.

O Diario Nacional. 民主黨 襖蘭紙  
Warrey Junior. Paulo Duarte.  
Paulo Nogueira Filho.

O Diario de São Paulo. 獨立 Rubens do Amaral. O.R. Dantas.

モノト見做サレテ居ル  
本年三月ノ大統領改選及下  
院議員總選舉ヲ控ヘテ居ル  
爲ニ政府與黨議員宣傳ノ要  
アリテ昨今其發行部數増  
シ約四萬部ト稱サレテ居ル  
一九二七年創刊 サンパウ  
ロ民主黨成立ノ翌年ノ創刊  
ニシテ専ラ共和黨ノ施政方  
針ヲ攻撃シ民主主義ノ宣傳  
ニ傾倒ス 長年ノ共和黨專  
横ニ反感ヲ抱ク者ノ間ニ愛  
諷セラル、ニ至リ創刊後日  
淺キニ不拘サンパウロ市有  
數ノ新聞トナレリ  
發行部數約四萬  
リオ市オ。ジョルナル紙ヂ  
アリオ。ダ。ノイデノ社長  
ニシテ新聞經營者トシテ著  
名ナルアシス。シヤトウ。  
ブリアン氏ノ經營ニナリリ  
オ、サンパウロ及ミナス首  
府ノ同氏經營諸新聞ト相呼

0062

O Diario da Noite. 獨立 Oswaldo Chateaubriand. Laiz Martins.

A Folha da Manhã. 獨立 Olival Costa. Luiz Moura.

A Folha da Noite. 獨立 Anival Machado

應シミナス及リオ。格蘭  
デ。ド。スール兩州統領ヲ  
主領トスル自由聯盟派ト稱  
ヒ同派ヲ極力擁護聲援シテ  
居ル  
記事豊富、報導又敏捷デア  
ル 發行部數約四萬  
デアリオ。デ。サンパウロ  
紙ノ姉妹紙ニシテ評論ニ特  
長ヲ有スル  
主義ハ獨立ナレトモ實質ヨ  
リ見ルトキハ民主黨派ノ新  
聞デアアル 記事概シテ温健  
發行部數約三萬  
興味本位ノ日刊ニシテ諷刺  
ニ富ム 昨年以來州共和  
黨ノ御用紙トナリ民主黨及  
自由聯盟派ノ攻撃ニ力ヲ注  
ギツ、アリ  
發行部數二萬五千部  
本紙ハフオリア。ダ。マニ  
ン紙ノ姉妹紙ニシテ毎刊  
一萬五千部

0063

O Diario Popular. 獨 立 J.M.Lisboa & Co. Americo A da Silva.

A Gazeta. 獨 立 Gaspar Libero. Miguel Flexa.

O Combate. 畢州共和 Jorge Santos.

黨機關紙

A Placeta. 獨 立 Pedro Cunha.

Sao Paulo Journal. 獨 立 Motta Filho. J.S.Macedo.

O Povo. 獨 立 W. Fleury. A. Cintra.

A Capital. 獨 立 Joao Castaldi.

畫刊中坂古ノ新聞ニシテ廣  
告本位凡ユル廣告ヲ網羅  
シ一般ヨリ調方視サレテ居  
ル記事甚タ穩健ニシテ政  
治問題ニハ殆ント胸レヌ主  
義テアルニハ殆ント胸レヌ主

畫刊 興味ト報道本位  
近年スボツノ報道ニ特ニ  
力ヲ注キ毎月曜日ニスボ  
ツ號ヲ發刊ス  
現下激烈ナル政争ノ間ニア  
リテ中立態度ヲ執リツ、ア  
リテ發行部數四萬五千ト自  
稱ス

畫刊 好シテ矯激ナル論說  
評論ヲ取テシ最近迄ハ盛  
ニ共和黨ヲ攻撃シ自由聯盟  
派ヲ支持シ居タリシカ本年  
一月畢州共和黨ハ此新聞ノ  
所有權ヲ買取シ社長ヲ代ヘ  
テ純然タル機關紙ト化セリ  
以前ハ排日記事ヲ掲ケタレ  
トモ昨年以來政争ノ渦中ニ

入リシ爲カ此種記事ニ筆ヲ  
染メス 二萬部

社會記事本位ノ畫刊  
現下ノ政争ニ對シテハ反政  
府黨ノ態度ヲ執リツ、アリ  
一萬二千部

社會記事本位 大株主カ畢  
州共和黨幹部ノ一人ナル關  
係上同黨機關紙ノ意味アリ  
一萬部

畫刊 本年二月ノ發刊 現  
下政争ノ生々タル新聞ニシ  
テ徹底的ニ政府與黨ニ反對  
シ一見民主黨機關紙ノ觀ア  
リ 發行部數一萬内外

四頁ノ一小新聞 日刊 二  
千部 一昨年迄ハ水年排日  
記事ヲ掲ケ來タリシカ同年  
中著名ナル政治家ニシテ親  
日家タルロドルフオ。ミラ  
ンダ氏ノ忠言ニヨリ爾今此  
種記事ヲ掲ケサルニシト紙上

0065

0064

A Fanfulla.

獨立 株式會社

Vezio Forelli.  
Augusto Goeta.

ニテ聲明セシカ最近又々日本移民海興支店及移住組合并ニ南米拓植ノ事業等ニ關シテ過キタル程ノ評論ヲ揭クニ至レリ

伊語新聞 多數ノ在留同胞ヲ育京トスルカ故ニ讀者モ甚タ多ク外字新聞中ノデカ

記事豊富穩健 發行部數四萬

伊語新聞 母國フアツシ

タ派ト密接ナル關係ヲ有シ

サンパウロ州在留伊國人ノ

向ニ盛ンニアツシスムヲ

宣傳ス 二萬部

獨逸語新聞 獨逸系在留民

年々増加スルカ爲其發行部

數モ之ニ比例シテ増加シ當

市外字新聞中一二ヲ爭フ程

度ノ新聞ニシテ讀者ハ全伯

國ニ遍シ記事豊富 發行部

數約四萬部

O Piccolo.

フアンシム Pietro Petroselli.  
タ襪附紙

Die Deutsche Zeitung.

獨立

Rudolf Trogpmair. Dr. Rudolf Peschke.

0066

伯刺西爾時報

邦字新聞

社長 黒石清作

日伯新聞

獨立

三浦 鑿

學州時報

獨立

香山六郎

學堡維新報

獨立

若月 操

過刊 在留同胞指導ヲ主義トスルモ其論說概シテ平凡但シ穩健ナル取柄アリ

二千五百部

週刊 過激ノ言辭ヲ弄シテ得々タル風アリ 觀祭ニ妙

ナレトモ人事攻撃ニ墮シ居ル嫌アリ 葡語欄ヲ有ス

千五百部

パウロニテ發行ノ口工

ステ線方面在留者ヲ購讀者トスル週刊ニシテ取立テ、

云フ程ノ主義モ無キカ如シ

發行部數一千

本年二月サンパウロ市ニテ

副刊 學市近縁業者ノ指

導ヲ目的トシテ生レタルモ

ノナレトモ週刊カ月刊カ未

タ決定シ居ラス

發行部數モ未定ナリ

0067

南米新報

獨立社長

坂田南舟

昨年切頭創立 週刊  
社長坂田ハ以前月刊雜誌南  
米評論ヲ出タシ盛ンニ激趣  
ナル文壇ヲ弄シ居タリシカ  
新聞ヲ出タスニ至リ全ク主  
義ヲ代ヘル穩健ナル記事  
ヲ樹クルニ至レリ  
約巻ノ部

0068

注意

文中の片假名を平假名に直す  
但し地名又は姓等は旧のまま。

概説

二 伯國サンパウロ州新聞概説

一九二四年ノ舉州革命ハ豫テ共和黨一黨專政ニ據ラザリシ一部政治家ニ大ナル刺戟ヲ與ヘ一九二六年ニハ遂ニ舉州ニ民主黨カ組織セラレ同年ノ聯邦議員總選舉ニ新黨ハ下院ニ四名ノ代議士ヲ送ツタ 此政治的現象カ伯國政界ニ與ヘタ衝動影響ノ大ナリシハ言フ迄モナイ 民主黨ノ出現ヲ機トシテ當地新聞界ハ始メテ政黨的色彩ヲ増シ一九二七年民主黨機關紙デアリオ。ナシヨナルノ創刊ニ伴ヒ内奥各地ニモ新黨支持ノ新聞出版セラレ當州言論界ハ爾來政治的ニ分野ヲ得タ  
州内ニ發行セラル、新聞—數ハ約四百五十ニ達スルカ人種多樣文化未タ普遍セス且交通機關亦充分發達セサル等カ主因ヲナシテ當地第一ノ新聞エスタード紙ノ如キモ其發行部數ハ六萬ニ不過特別版カ漸ク八萬乃至十萬ニ達スル程度テアルカラ内奥地方新聞界カ微々トシテ振ハサルハ想像ニ難クナイ  
首都サンパウロ市發行ノモノハ廿餘種テアルカ内ポピュラーナモノハ十

Consulado Geral do Japão — S. Paulo

0069

REEL No. A-0411

0040

アジア歴史資料センター

數種ニ過キナイカ今此等ノ新聞ヲ其傾向カラ見テ大体左ノ如ク分類シ得ルト思フ

一、主義言論本位ノモノ

共和黨及民主黨機關紙又ハ獨立スルモ民主黨傾向ヲ多分ニ含ムモノ

二、興味本位ノモノ

社會事象ヲ詳細ニ報道スルコトニ主力ヲ注クモノ 當地新聞ノ多數ハ此ノ部類ニ屬ス

尚諸新聞ニ迎スル一般の現象ハ近時其經營難カ増大シタコトデアアル 從テ獨立ヲ標榜<sup>トス</sup>スルモノ内實何等カノ名義ニテ當局ヨリ相當額ノ援助ヲ得テ居ルモノ多ク眞ニ獨立シ品位ヲ保持シテ居ルモノハエスタード紙アルノミト目セラレテ居ル

論說評論ヲ本位トスル三四新聞ヲ除イテハ何レモ興味ヲ本位トナシ社會萬般ノ事象ヲ報道シテ社會人ノ好奇心ニ迎合セント努力シツ、アル近時

一般新聞界ノ現象モ亦見逃スコトハ出來ナイ

對日態度

現今當地ニハ對日態度ノ剛明ナルモノナク數年前ニ比シ日本移民ニ對スル論評ハ甚タ穩健トナツタコトハ見逃スヘカラサル事實デアアル 曾テハカピタル紙ノ如キ日本人ニ關シ下劣ナル記事論說ヲ掲ケ日本移民反對ノ氣勢ヲ揚クルコトニ努メタルモノアリシカ同紙ハ昨年初頭親日家上院議員ドクトル。ロドルフォ。ミランダ氏ノ忠言勸告ヲ容レ紙上ニ於テ爾今排日の記事ノ掲載ヲ取テセスト言明シ茲ニ所謂排日記事ハ當地新聞界ヨリ跡ヲ絶ツタ形デアアル 尤モ時々日本移民ノ賛否論ハ出現スルモ此レヲ排日記事ト見做スハ早計テ然カモ之ヲ取扱フ新聞ハ二三流ノモノニ多ク一般輿論ヲ喚起スルニ至ラス自然ニ煙滅スル有様デアアル

エスタード紙ノ如キ大新聞ハ時々移民問題ヲ論スルコトアレトモ正面ヨリ露骨ニ論セスシテ日本移民ノ大流入ニ付キテ一種ノ諷刺警戒ヲ與フルト云フ態度デアアル 而シテ同紙ハ常ニ大新聞ノ襟度ヲ忘レス我ニ有利ナ



ル記事ト雖ドシドシ掲載スル  
又共和黨機關紙コレオ。パウリスターノハ外國移民問題ノ如キ國際的性質ヲ帶ヒタルコトニハ其善惡ニ不拘一切筆ヲ染メヌ方針テアル

通信者

當地新聞ニ關係ヲ有スル電報通信社ニハユイナイテド。プレス、ハーヴ  
アス及アゼンシア。アメリカーナカアリ何レモ首府リオ市ニ支局ヲ有シ  
同局ヨリ各地ニ轉電シテ居ル。電報數ヨリ見テユイ。ピ―四割、ハーバ  
アス四割及アメリカーナ二割ノ割合テ東洋方面ノ電報ハ殆ント全部ユイ  
。ピ―社發ノモノニシテ日本ニ關スルモノハ故意ニ誇張シテ報セラレル  
ノカ常テアル

外字新聞

當地發行外字新聞ハ可成リ多數ニ上ルカ其主ナルモノハ伊語及獨逸語ノ  
モノテアル  
伊語新聞ニハフアンフーラ、ピツコロ、デ。フエザカアリ在留民カ多數

ナルカ故ニ各々發行部數ハ相當多數テ前者ハ四萬ト稱セラレ發行部數ヨ  
リ云ヘハ第三位ヲ占メテ居ル。此新聞ハ其歴史モ古ク獨立ヲ標榜シ大體  
ニ於テ穩健ナ新聞テアルカピツコロ紙ニ至ツテハ純然タルフアシスチ機  
關紙ニシテ在留民間ニアアシズムヲ宣傳スルヲ目的トシ其主義宣傳ニ餘  
リニ急ナルカ爲昨年九月中所謂ピツコロ燒打事件ヲ誘致シ爾來當地新聞  
ハ何レモ伯國至上主義愛國ヲ高調シ此事件ヲ機會トシテ當地外字新聞ハ  
何レモ伯國ニ關スル記事ニハ充分注意ヲ拂フコト、ナツタ  
獨逸語新聞ドイツチエー。ザイツング亦多數在留民ヲ眷景トスルカ故ニ  
其發行部數モ伊語紙フアンフーラト大差ナク在伯獨逸系ノモノニ廣ク購  
讀セラレテ居ル  
此等外字新聞ノ對日態度ハ明カナラサレトモ自ラ進ンテ日本移民ヲ論ス  
ルカ如キコトナク伊紙等ニ時ニ日本移民ニ關スル記事ノ現ハル、コトア  
ルモ寄書力鑑譯物ニ過キナイ

邦字新聞